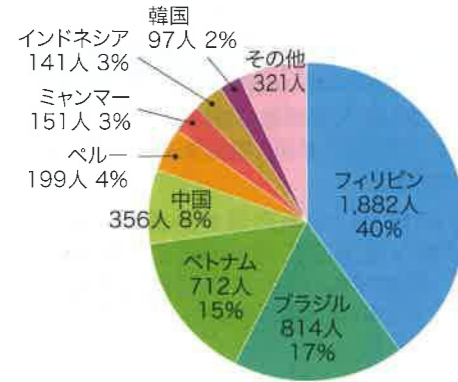




焼津市 No.55 - 2022年 3月 - 国際友好協会だより

●発行 焼津市国際友好協会(焼津市市民協働課内)
〒425-8502 静岡県焼津市本町2-16-32 TEL 054-626-2191

焼津市に暮らす外国人住民



2022年1月末現在、焼津市には47ヶ国の外国人住民4,673人が生活しています。5年前(2017年1月末)の人数と比べると、約1,200人増加しています。

	2017年1月末現在	2022年1月末現在
焼津市の総人口	141,245人	137,637人
うち外国人住民数 (総人口に占める%)	3,472人 (2%)	4,673人 (3.4%)

焼津市 世界

●焼津市国際友好協会 ● ☎054-626-2191 (市民協働課内)

令和3年8月1日(日)に和田公民館にて、「日本語を母国語としない児童生徒のための進路ガイダンス」を開催しました。市内に住む外国にルーツをもつ小中学生と保護者約30人が参加し、通訳を介しながら、日本の教育制度についての説明や就職についての話を傾けました。また、外国にルーツのある高校生や大学生による体験談の発表も行い、参加者は、日本の学校生活で苦労したことや日本語の学習方法などの「先輩たち」の話を熱心に聞き、ガイダンス終了後も質問をしていました。

このような事業を通して、外国にルーツをもつ子どもたちが、身近なロールモデルと出会うことで将来の前向きな展望を描くことができ、「今」を乗り越えて学校生活を楽しむことができるのではないかと思います。また、日本人にとっては馴染みのある教育制度も、外国から来た保護者にとっては、理解しがたいことも多く、このような機会に、正しい情報を多言語で提供することは、とても重要なことだと考えています。

来年度も、たくさんの方に参加していただき、有意義な事業になるよう計画します。



▲日本の教育制度について説明。

焼津市国際友好協会とは・・・

焼津市国際友好協会は、国際化への対応と市内の友好団体の支援のために1993年に設立されました。市内の友好団体への支援活動と外国人との交流活動を基調に、グローバル化が進む現代社会にふさわしい焼津のまちづくり、人づくりに寄与するとともに、世界平和に貢献することを目的としています。



●焼津・ホバート友好協会●

☎054-626-2191 (市民協働課内)

焼津・ホバート友好協会では、2021年オリンピック期間中にあわせて、ホバート市子どもたちと焼津市の学童クラブの子どもたちによる「オンラインけん玉大会」を開催しました。子どもたちは、練習した英語で自己紹介を行うなど画面で交流をし、両市の絆を深めました。



▲オンライン対決後の集合写真(学童保育なかよし東クラブ)

●焼津市日中友好協会●

☎054-626-2191 (市民協働課内)

焼津市日中友好協会では、毎年恒例の「やさしい気功教室」を開催し、多くの人に参加いただきスタートしました。しかし残念ながら、全7回中の2回を終えた時点でコロナの感染拡大により中止を余儀なくされました。例年楽しみにしていた中国出身の実習生との交流会も近年開催ができていません。コロナの早期収束を願うばかりです。



●国際生活文化交流 ワールドプラザ●

☎054-628-5095 (長房宅)

8月1日と15日に、豊田と大富公民館で「世界の果ての通学路」の映画上映会を開催しました。来場者は、外国に住む子どもたちが遠く離れた学校に一生懸命通う姿を感慨深そうに見ていました。

また、9月24日と25日に、コロナの影響を受け生活が困窮している外国人を対象に、米を配布しました。働いていた工場が休業になったり、勤務時間が短くなったりで収入が減り、生活費のやりくりで苦労していた外国人が多く集まり、お米を受け取ったみなさんはとても喜んでいました。

来年度に向けて、様々な事業を計画中です。



▲お米の配布に協力してくれた仲間

●認定NPO法人 タイ王国教育支援組織SHIDA●

☎054-624-3194 (杉山宅)

URL <https://sites.google.com/view/nposhida/>

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、活動に深刻な影響を与えた。毎年2~3回訪タイし、奨学金や楽器文具支援、そして何より楽しみな子供達との交流もすべて停止してしまっ。しかし、子供達は厳しい現実に向き合い、苦勞しながらも頑張っている。昨年は、奨学金支援の子供から看護師1人、先生1人、ガイド1人が誕生した。携帯の画面に映る彼女たちの弾けるような笑顔は、夢を叶えた喜びで、支援している私達を勇気づけ元気づけてくれる。

私たちはこれからも「一番苦勞した人が一番幸せになる権利がある。SHIDAは、それを教育の力で実現」に挑戦し続けます。



▲先生(警察官)になったスチラー(国境警備隊基地内の学校の先生となる。)

焼津市 モンゴル国 (東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン)

焼津市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるモンゴル国のホストタウンとして、2015年より様々な交流を実施しています。

昨年開催された東京2020大会では、モンゴル国からレスリング、3x3バスケットボール(3人制バスケ)、パラリンピックテコンドー、パラリンピック陸上の4競技代表チームが事前キャンプや事後交流のため来焼しました。

2017年から毎年本市で強化合宿を実施してきたレスリング代表チームは、全12階級中9階級に出場し、女子53kg級ボロルト選手が銅メダルを獲得しました。また、モンゴル国では史上初となるオリンピック団体競技としての出場を果たした3x3バスケットボール女子チームは、焼津市を本拠地とするプロチーム「焼津GRユナイテッド」と親善試合を行うなど交流を深めました。



▲モンゴル国3x3バスケットボール女子代表 VS 焼津GRユナイテッドによる親善試合



▲焼津神社を訪れたモンゴル国レスリング代表

焼津市は、東京2020大会の開催をきっかけに始めたモンゴル国との交流を「レガシー継承」として引き続き実施していきます。





「外国人のための日本語教室」は、「多文化共生のまちづくり」のヒントがいっぱい!

多文化共生とは:「国籍等の異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」(総務省)

焼津市には、日本語を学びたい外国人の皆さんのための日本語教室があります。学習者が楽しみながら継続して学べるよう、先生やボランティアの皆さんは工夫を凝らして学びの場づくりをしています。様々な国籍の人が集まる地域の日本語教室は、まさに多文化共生のまちづくりの最前線!日本語学習を通して、お互いの文化や生活習慣を学び、同じ地域で生活する住民として顔の見える関係を育むことができます。教室は、いつも「驚き」や「発見」、「なるほど~!!」や「いいね!」が溢れています!

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、教室がお休みの場合があります。活動に興味のある方は、記載されている問合先にお問い合わせください。

『焼津日本語教室』

会話やゲームをしながら、日常で使う日本語を楽しく学んでいます。対話式クラス、漢字を学習するクラス、検定試験に向けた上級クラスに分かれて学習します。

- 対象 / どなたでも
- 日時 / 第1~4金曜日 19:00~21:00
- 会場 / 港公民館
- 費用 / 無料
- 問合先 / 鈴木 TEL090-4466-8094



▲日本語能力試験に合格しました!

1995年から
続く老舗の
教室!

『やいづにほんご教室』

テキストを使い、一人一人のニーズに応えながら学習を進めています。1月には、書き初め体験を行い、学習者さんはボランティアのサポートを受けながら、自分で書きたい文字を決め、書き初めをしました。

- 対象 / どなたでも
- 日時 / 第2、4土曜日 10:00~11:30
- 会場 / 大村公民館
- 費用 / 無料
- 問合先 / 村松 TEL090-6333-9474

日本文化の
紹介もします。



▲思いを込めて、文字を書きました。

『にほんごひろば』

①外国にルーツをもつ小中学生に学習支援を行います。

- 対象 / 子ども
- 日時 / 水曜日16:00~17:00
- 会場 / 和田公民館
- 費用 / 1回200円
- 問合先 / 池田 TEL090-8135-0839

②学習者の要望に合わせて、マンツーマンでレッスンをを行います。

- 対象 / 大人・子ども
- 日時・会場 / 相談者と決定
- 費用 / 1回300円
- 問合先 / 池田 TEL090-8135-0839



▲和田公民館での学習支援の様子

一緒に
活動する
仲間を募集中!

『放課後ひろば』

外国にルーツを持つ子どもたちに、日本語指導や学習支援を行います。

- 対象 / 子ども(小・中学生)
- 日時 / 土曜日10:00~12:00
- 会場 / 利右衛門コミュニティ 防災センター
- 費用 / 無料
- 問合先 / 多文化共生を考える焼津市民の会『いちご』 谷澤 TEL090-6590-4178

ふじのくに
地域共生大賞
「多文化共生賞」



対話と交流による「はじめての日本語教室」に 指導者や日本語サポーター等として参加してみませんか。

焼津市では、令和4年度に日本語を学んだことのない外国人住民を対象に、地域の日本人との交流を通して日本語を学ぶ「はじめての日本語教室」(県委託事業)を開催する予定です。この教室と一緒に活動して下さる人を募集します。

はじめての 日本語教室 とは...

日本語能力が十分でない外国人住民に向けて、9~11月の日曜日に市内で開催する日本語教室(全12回)です。各回ともに、身近なテーマ(自己紹介、家族、買い物など)に沿い、学習者である外国人住民と地域に住む日本人が言葉だけでなく創意工夫しながらコミュニケーションをとる中で、学習者は日本語を学び、日本人も外国人住民の皆さんについて理解を深めることが目的です。

① 指導者

県が作成した教材をもとに、コーディネーターとともに「はじめての日本語教室」を運営します。指導者として選ばれた場合は、事前に養成講座(全8回程度)に参加していただきます。

- 対象 / 日本語教師の資格を持ち、1年以上の実務経験がある方。
※面接による選考あり
- 定員 / 若干名
- 申込締切 / 4月15日(金)

② 指導補助者

「はじめての日本語教室」で指導者の補助をします。指導補助者として選ばれた場合は、事前に養成講座(全8回程度)に参加していただきます。

- 対象 / 地域の日本語教室や外国人への日本語学習支援に関わったことがある人(有資格者以外の方でも参加できます。)
※面接による選考あり
- 定員 / 若干名
- 申込締切 / 4月15日(金)

③ 日本語サポーター

各回の教室で対話や交流を通じ、学習者が日本語に興味を持って取り組むことができるよう、手助けをします。特別な資格や知識は必要ありません。外国人との交流を楽しむ感覚で参加できます。活動を希望される方は、事前に養成講座(全2回)に参加していただきます。

- 対象 / 外国人との交流や日本語学習支援に興味のある方(未成年の場合は、保護者の同意が必要です。)
- 定員 / 30名程度
- 申込締切 / 5月31日(火)

④ 母語支援者

学習者の募集協力や教室進行の通訳、学習者が継続して教室に通えるようサポートをします。活動を希望される方は、事前に養成講座(全2回)に参加していただきます。

- 対象 / 日本語と学習者の母国語(タガログ語、ビサヤ語、ポルトガル語、ベトナム語など)の通訳ができる人
- 定員 / 若干名
- 申込締切 / 5月31日(火)

共通 事項

【申込方法】参加申込書に必要事項を記載し、期限までにメール、郵送または窓口で提出してください。

※参加申込書は市民協働課窓口で配布するほか、市ホームページに掲載しています。

【申込・問合先】焼津市役所 市民協働課 多文化共生担当 住所:〒425-8502 焼津市本町2-16-32

電話:054-626-2191 メール:kyodo@city.yaizu.lg.jp URL:https://www.city.yaizu.lg.jp/g01-006/006.html

焼津市 常葉大学

今年度、焼津市では常葉大学と連携し、多文化共生社会の推進に関する2つのプロジェクトを行いました。

① 図書館利用促進リーフレット作成プロジェクト

実は外国語で書かれた本を多く所蔵する焼津の図書館。「ぜひ外国人のみならずにも活用してほしい!」という思いから、子育て世帯を主なターゲットとした多言語版のリーフレットの作成に取り組みました。



▲まずは、子育て中の外国人ママに、リモートでインタビューをし、現状を把握。



▲メンバーと意見交換し、分かりやすく温かみのあるデザインに。

② 「転入外国人向け ごみ分別チュートリアル動画」制作プロジェクト

日本のごみ分別のルールは、焼津に多く住む外国人の出身国であるフィリピンやブラジル、ベトナム等に比べて厳しい!また、市町によってルールが変わるから、さあ大変。そこで、ごみ分別に関する基礎的なことを説明する動画の制作に取り組み、シナリオ作りから、動画の撮影、ナレーション付けまで行いました。



▲グループメンバーとの話し合いを重ね、より良いものに上げていきます。



▲ホワイトアニメーションという技法を使い、動画を作りました。